

中央区の保健医療福祉に関する現状データ集（案）

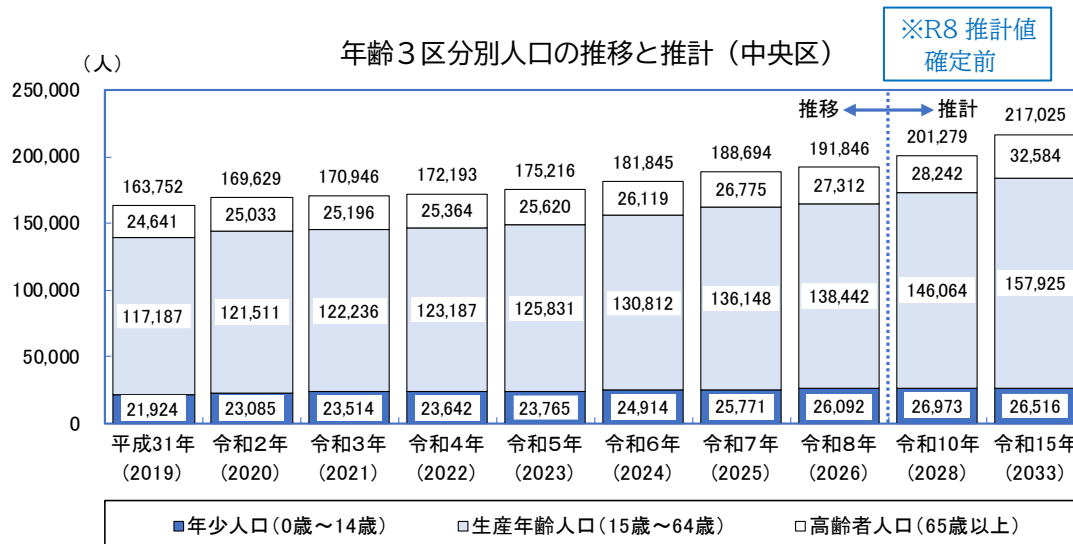
1 人口の推移と推計	2
（1）年齢3区分別人口の推移と推計	
（2）地域別人口の推移と推計	
2 世帯の状況	3
（1）世帯数および世帯人員の推移	
（2）世帯構成	
3 若年層の状況	5
（1）乳幼児人口の推移	
（2）6歳から19歳までの人口の推移	
4 高齢者の状況	6
（1）高齢者人口の推移と推計	
（2）要介護・要支援認定者数の推移	
（3）日常生活自立度別の認知症高齢者数の推移	
5 外国人の状況	8
（1）外国人人口の推移	
（2）外国人人口の国籍・地域	
6 障害者・難病患者の状況	9
（1）障害者手帳の所持者数の推移 （身体障害者手帳所持者数の推移（部位別）、愛の手帳所持者数の推移（程度別））	
（2）難病患者の状況	
7 寿命・死因の状況	10
（1）平均寿命の推移	
（2）65歳健康寿命の推移	
（3）死亡原因	
8 医療機関の状況（新規）	12
9 生活保護の状況	12
10 住まいの状況	13
（1）区民の居住形態	
（2）空家の状況	
11 定住率の状況	14
12 地域コミュニティの状況	15
（1）地域別町会・自治会数	
（2）地域別防災区民組織数	
（3）民生・児童委員の状況	
（4）「災害時地域たすけあい名簿」の登録者数と同意者数の推移	
13 各種相談の状況	16
（1）ふくしの総合相談窓口の相談件数（新規）	
（2）おとしより相談センターの相談件数	
（3）中央区基幹相談支援センターの相談件数	
（4）自立相談の件数	
（5）子育て交流サロン「あかちゃん天国」の子育て相談の件数	
（6）中央区社会福祉協議会 成年後見支援センター「すてっぷ中央」の成年後見制度の利用に関する相談件数	
14 区内の犯罪の状況（新規）	19
（1）検挙件数・再犯者数・再犯者率	
（2）保護司の状況	

第2章

1 人口の推移と推計

(1) 年齢3区分別人口の推移と推計

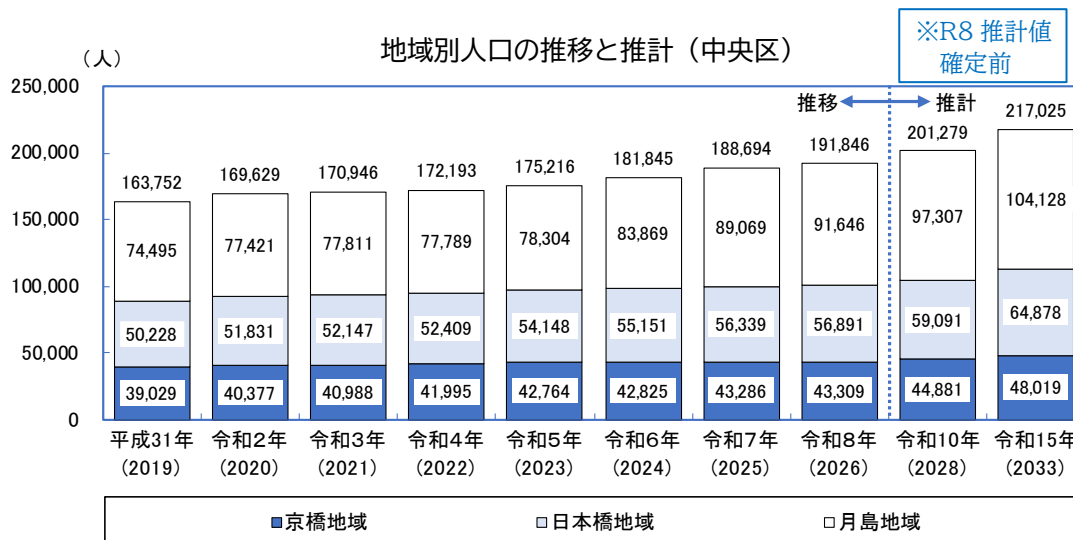
本区における人口は増加傾向にあり、令和7(2025)年中に19万人を超え、令和10(2028)年までに20万人を超えると見込んでいます。



資料：中央区「住民基本台帳」（各年4月1日現在）
※推計値は令和8年4月1日現在の人口を基準に区が作成。令和10(2028)年以降の推計値は、小数点第1位を四捨五入しているため、合計値と合致しない場合がある。

(2) 地域別人口の推移と推計

本区の地域別(京橋、日本橋、月島)人口は、いずれの地域の人口も増加傾向にあり、特に月島地域では人口の増加が著しく、令和15(2033)年までに10万人を超えると見込んでいます。



資料：中央区「住民基本台帳」（各年4月1日現在）
※推計値は令和8年4月1日現在の人口を基準に区が作成。令和10(2028)年以降の推計値は、小数点第1位を四捨五入しているため、合計値と合致しない場合がある。

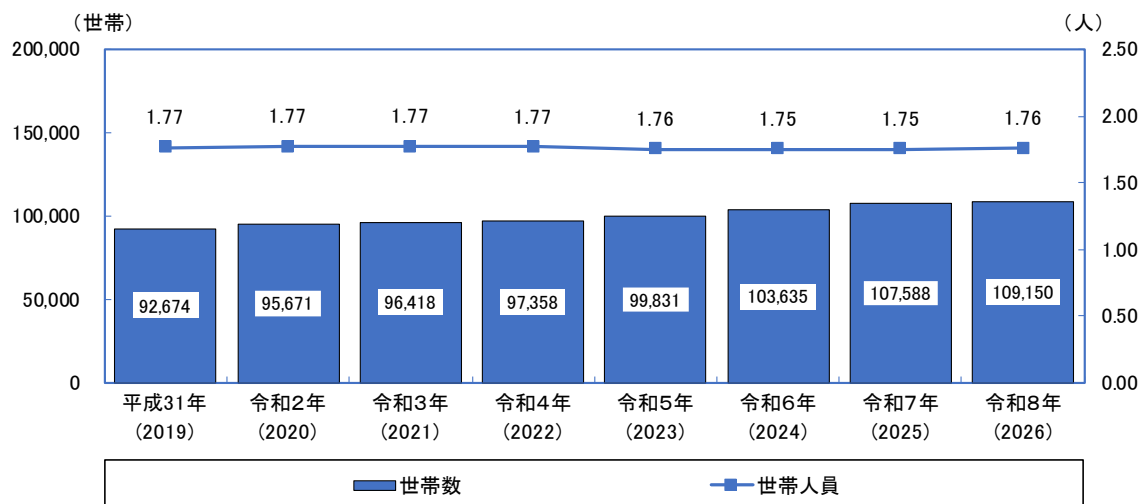
2 世帯の状況

(1) 世帯数および世帯人員の推移

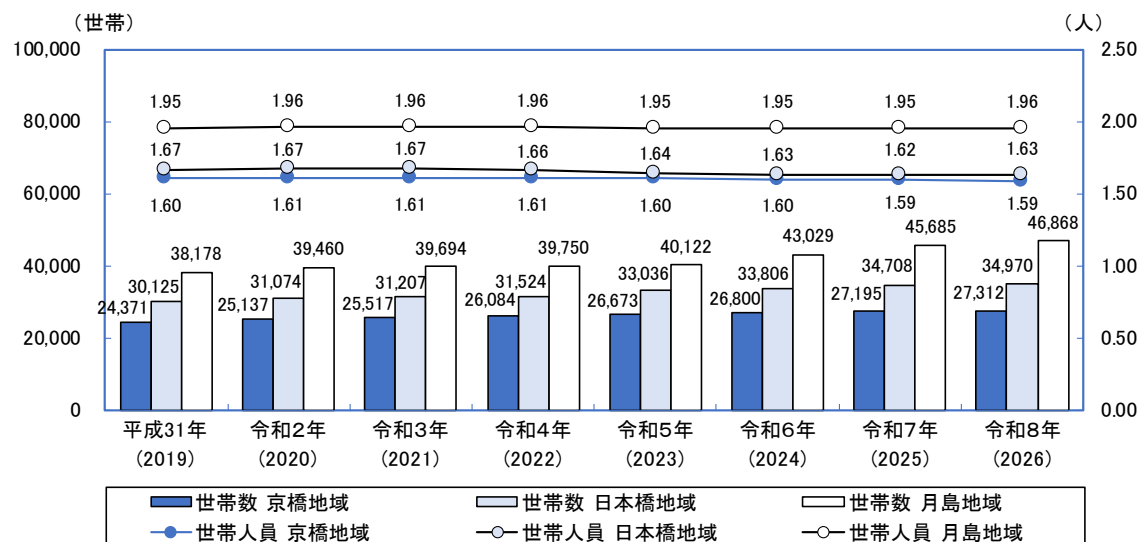
本区の全体の世帯数は増加が続いており、令和6(2024)年までに10万世帯を超えています。世帯人員は1.75から1.77人の間で推移しています。

また地域別世帯数は、いずれの地域も増加傾向にあります。世帯人員数は、横ばいで推移しています。

世帯数および世帯人員の推移（中央区）



地域別世帯数および世帯人員の推移（中央区）



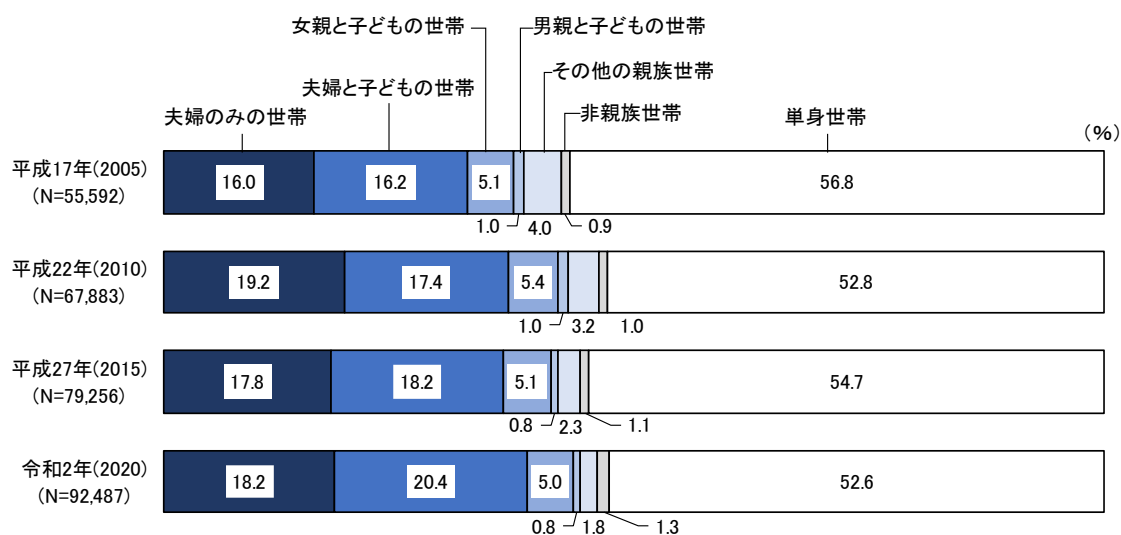
資料：中央区「住民基本台帳」（各年4月1日現在）

(2) 世帯構成

本区は単身世帯が多く、5割以上で推移しています。また、夫婦と子ども世帯が増加しており、令和2(2020)年は2割を超えています。

世帯構成（中央区）

令和7年度国勢調査の結果公表前
公表予定：令和8年9月

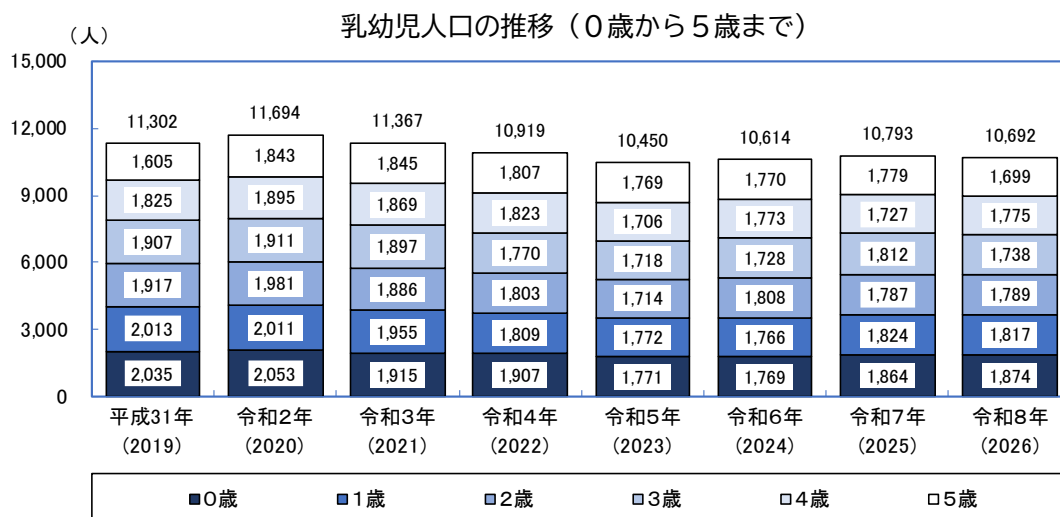


資料：総務省統計局「国勢調査」（平成17年、平成22年、平成27年、令和2年）

3 若年層の状況

(1) 乳幼児人口の推移

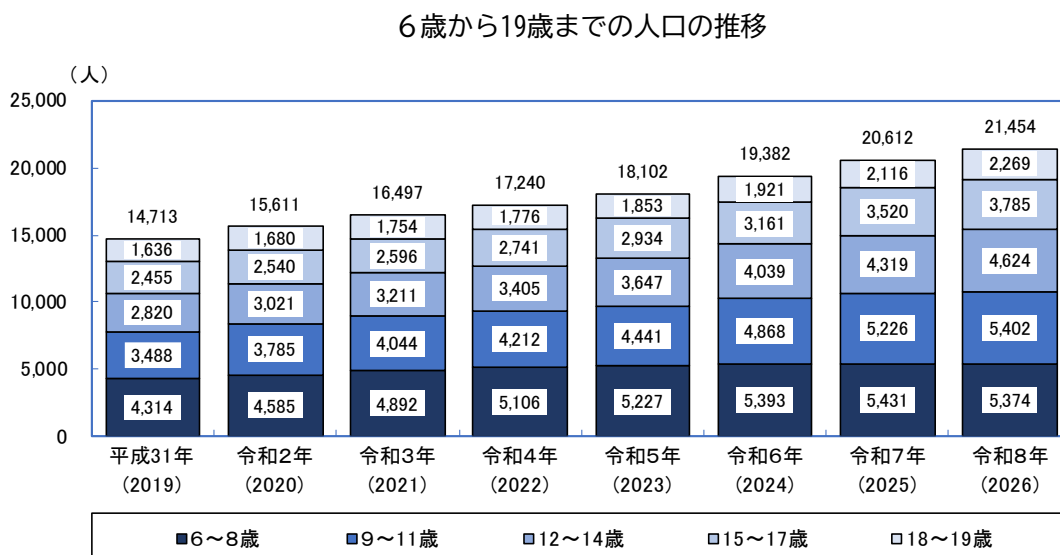
本区の乳幼児人口は、令和2(2020)年をピークに、令和4(2022)年以降は1万1千人を下回って推移しています。



資料：中央区「住民基本台帳」（各年4月1日現在）

(2) 6歳から19歳までの人口の推移

本区の6歳から19歳までの人口は増加傾向にあり、平成31(2019)年から令和8(2026)年までに、特に9歳から11歳は1,914人増加し、12歳から14歳は1,804人増加しています。

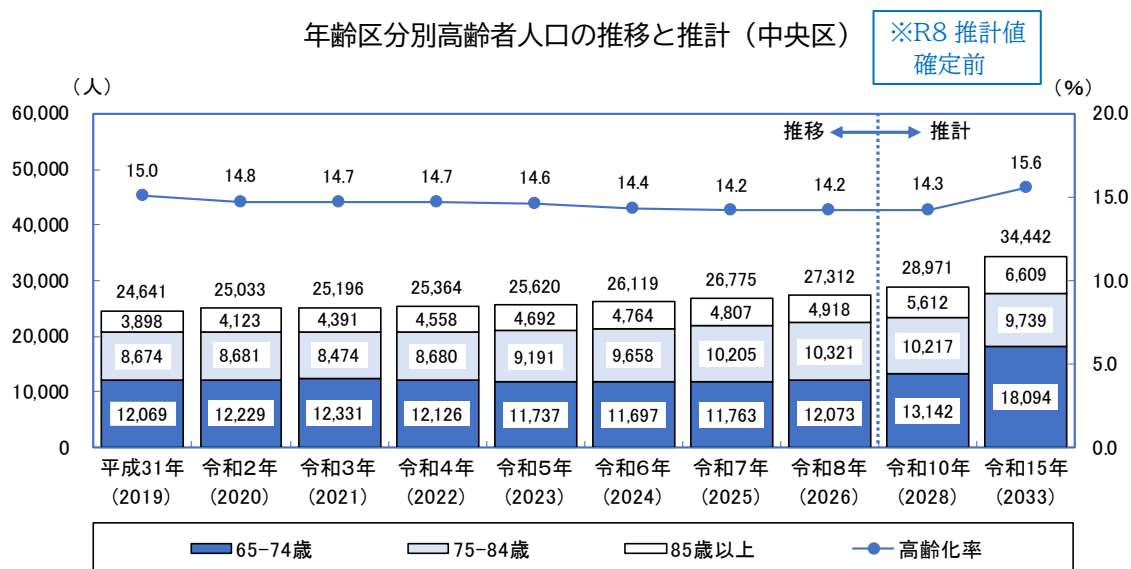


資料：中央区「住民基本台帳」（各年4月1日現在）

4 高齢者の状況

(1) 高齢者人口の推移と推計

本区の高齢者数は増加傾向にあります。高齢化率は区全体の人口増加により依然として低い値となっています。

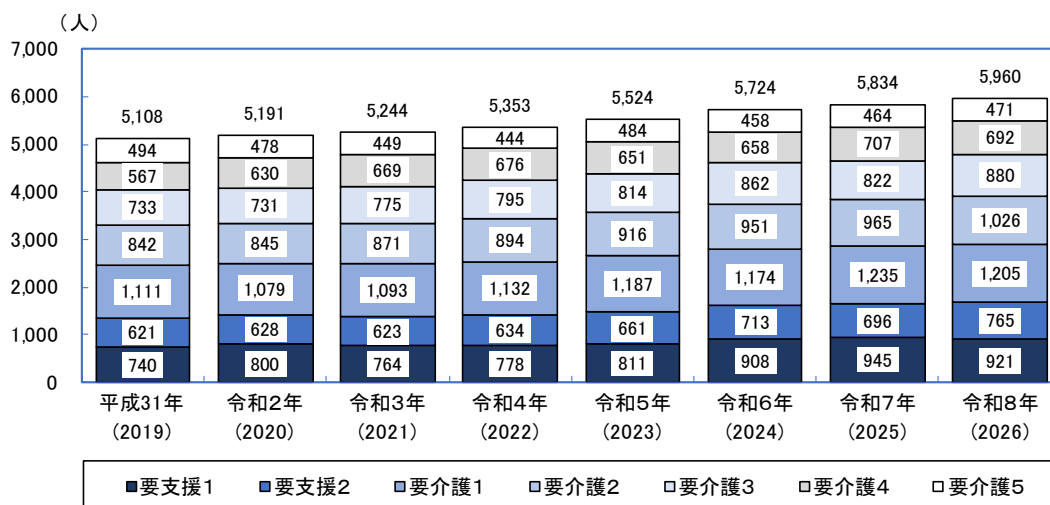


(2) 要介護・要支援認定者数の推移

本区の要介護・要支援認定者の総数は、平成31(2019)年以降一貫して増加しており、令和8(2026)年は5,960人となっています。

平成31(2019)年と比べると、要介護5を除く要介護・要支援認定者数は増加しています。

要介護・要支援認定者数の推移（中央区）

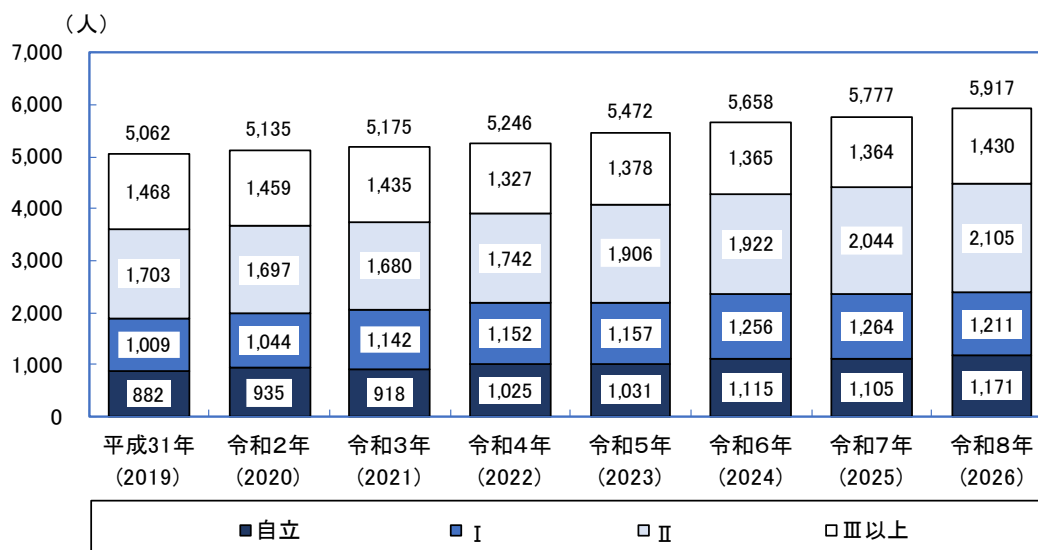


資料：中央区（各年3月31日現在）
 ※要介護・要支援認定者数は、第2号被保険者も含む

(3) 日常生活自立度別の認知症高齢者数の推移

要介護・要支援認定者のうち、日常生活自立度別の認知症高齢者数の推移をみると、生活に支障のある症状等がみられるⅡ以上の認知症高齢者数は、平成31(2019)年から令和8(2026)年にかけて364人増加し、令和8(2026)年は3,535人となっています。

日常生活自立度別の認知症高齢者数の推移（中央区）



資料：中央区（各年3月31日現在）
※転入者で自立度が把握できない者を除いて集計

認知症高齢者の日常生活自立度

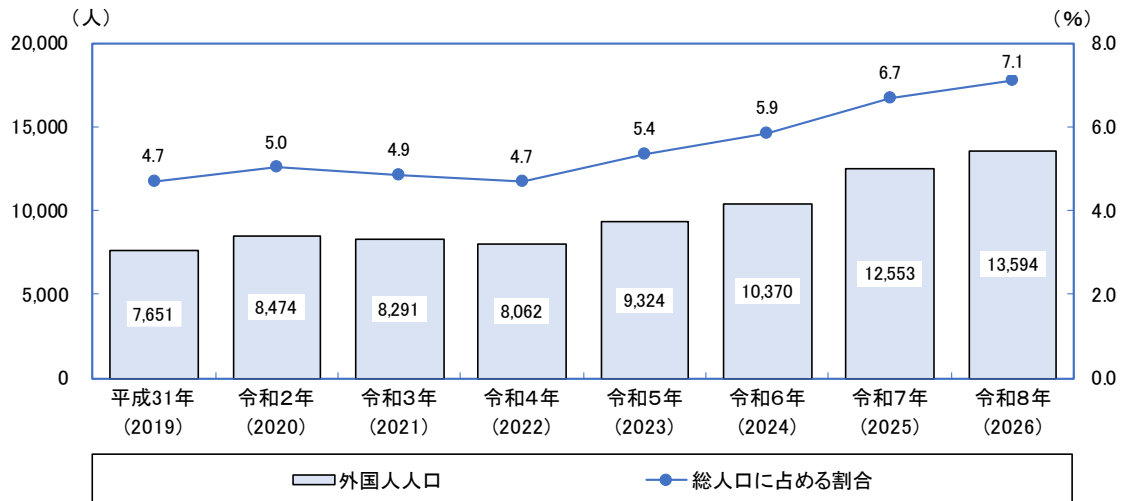
I	認知症を有するが、家庭内・社会で日常生活は自立
II	日常生活に支障ある症状等があるが、他者の注意があれば自立 a:家庭外で、上記の状態がみられる b:家庭内でも、上記の状態がみられる
III	日常生活に支障ある症状等があり、介護が必要 a:日中を中心として、上記の状態がみられる b:夜間を中心として、上記の状態がみられる
IV	日常生活に支障ある症状等が頻繁にあり、常時の介護が必要
M	著しい精神症状・周辺症状がみられ、専門治療が必要

5 外国人の状況

(1) 外国人人口の推移

本区の外国人人口は、令和5(2023)年以降増加傾向にあり、平成31(2019)年と比べると令和8(2026)年は約1.78倍の13,594人となり、総人口の約7.1%を占めています。

外国人人口の推移（中央区）

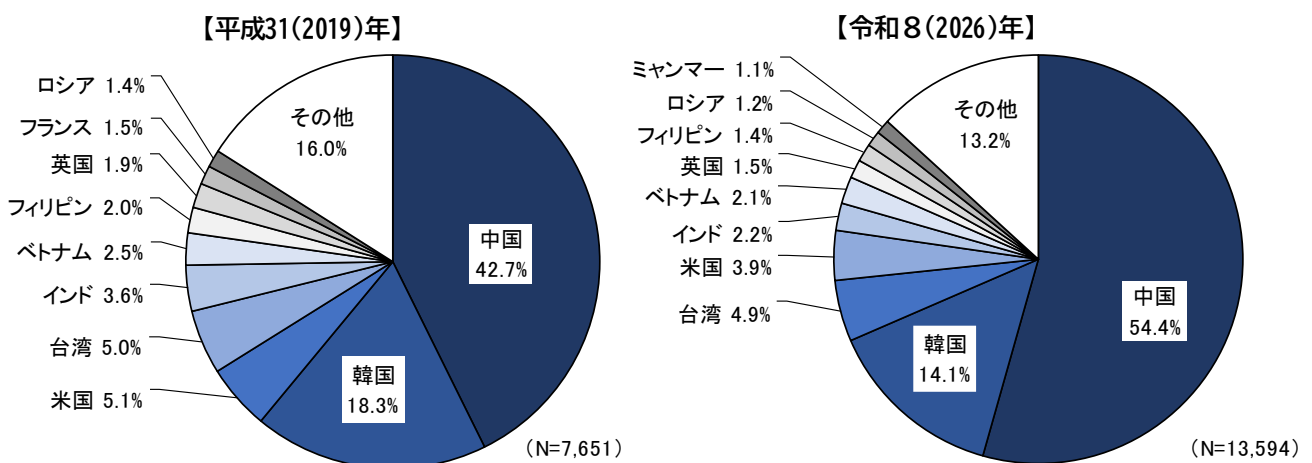


資料：中央区「住民基本台帳」（各年1月1日現在）

(2) 外国人人口の国籍・地域

本区の外国人人口の国籍・地域別内訳について、平成31(2019)年と令和8(2026)年1月1日現在を比べると上位6カ国は変化が見られない一方で、「中国」の割合が半数以上となっています。

外国人人口の国籍・地域別内訳（中央区、上位10位）



資料：東京都「外国人人口」（平成31年1月1日現在、令和8年1月1日現在）

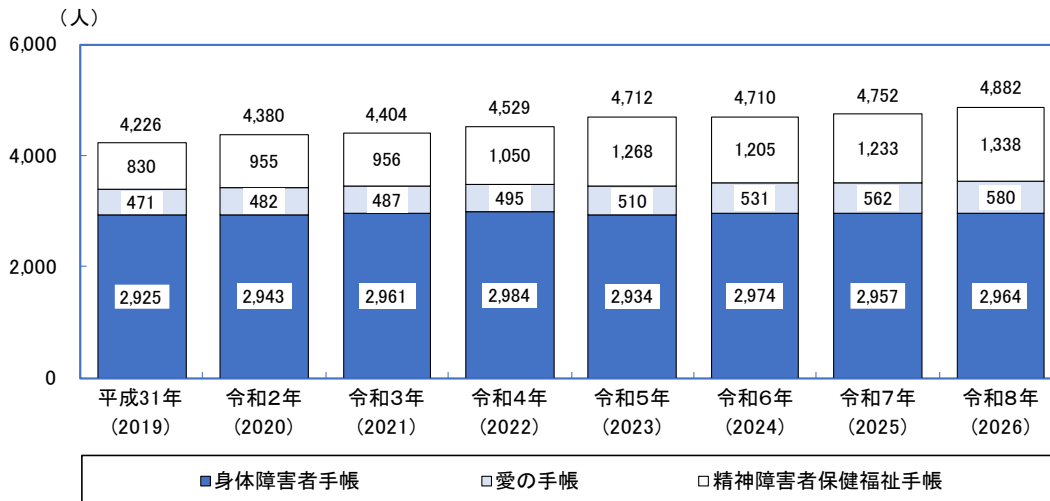
6 障害者・難病患者の状況

(1) 障害者手帳の所持者数の推移

本区の障害者手帳の所持者数は増加傾向にあり、令和8(2026)年は4,882人となっています。

身体障害者の障害部位別の内訳は、肢体不自由と内部障害の合計が全体の8割を占めており、愛の手帳の程度別の内訳では、3度と4度の合計が全体の7割を占めています。

障害者手帳の所持者数の推移（中央区）



資料：中央区（各年4月1日現在）

身体障害者手帳所持者数の推移（部位別）

	総数	部位別				
		視覚障害	聴覚平衡機能障害	音声言語機能障害	肢体不自由	内部障害
平成31年(2019)	2,925	187	157	42	1,406	1,133
令和2年(2020)	2,943	189	171	37	1,366	1,180
令和3年(2021)	2,961	193	175	40	1,351	1,202
令和4年(2022)	2,984	201	176	43	1,210	1,354
令和5年(2023)	2,934	215	177	44	1,343	1,155
令和6年(2024)	2,974	223	188	40	1,306	1,217
令和7年(2025)	2,957	228	193	37	1,270	1,229
令和8年(2026)	2,964	248	203	37	1,236	1,240

愛の手帳所持者数の推移（程度別）

	総数	程度別			
		1度	2度	3度	4度
平成31年(2019)	471	24	108	124	215
令和2年(2020)	482	24	111	127	220
令和3年(2021)	487	22	112	129	224
令和4年(2022)	495	20	107	128	240
令和5年(2023)	510	25	117	135	233
令和6年(2024)	531	24	123	144	240
令和7年(2025)	562	22	139	152	249
令和8年(2026)	580	20	152	152	256

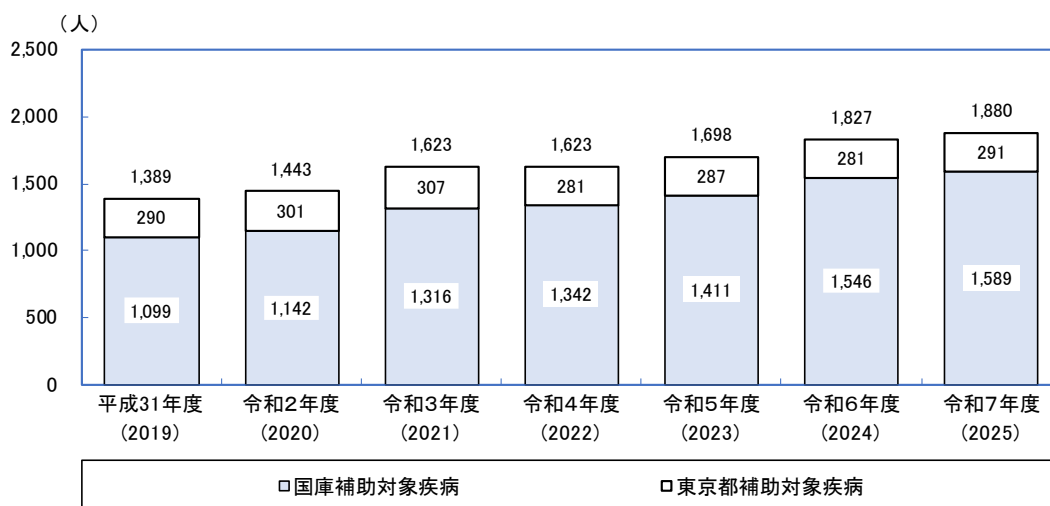
資料：中央区（各年4月1日現在）

※内部障害とは、心臓や呼吸器など身体内部の障害のこと。
 ※愛の手帳の程度（知的障害の程度）は数字が小さいほど障害が重い。

(2) 難病患者の状況

本区の難病患者医療費助成受給者数の推移は全体的に増加傾向にあり、平成31(2019)年度から令和7(2025)年度にかけて491件増加しており、令和7(2025)年度は1,880件となっています。

難病患者医療費助成受給者数の推移（中央区）



資料：中央区（各年度3月31日現在）

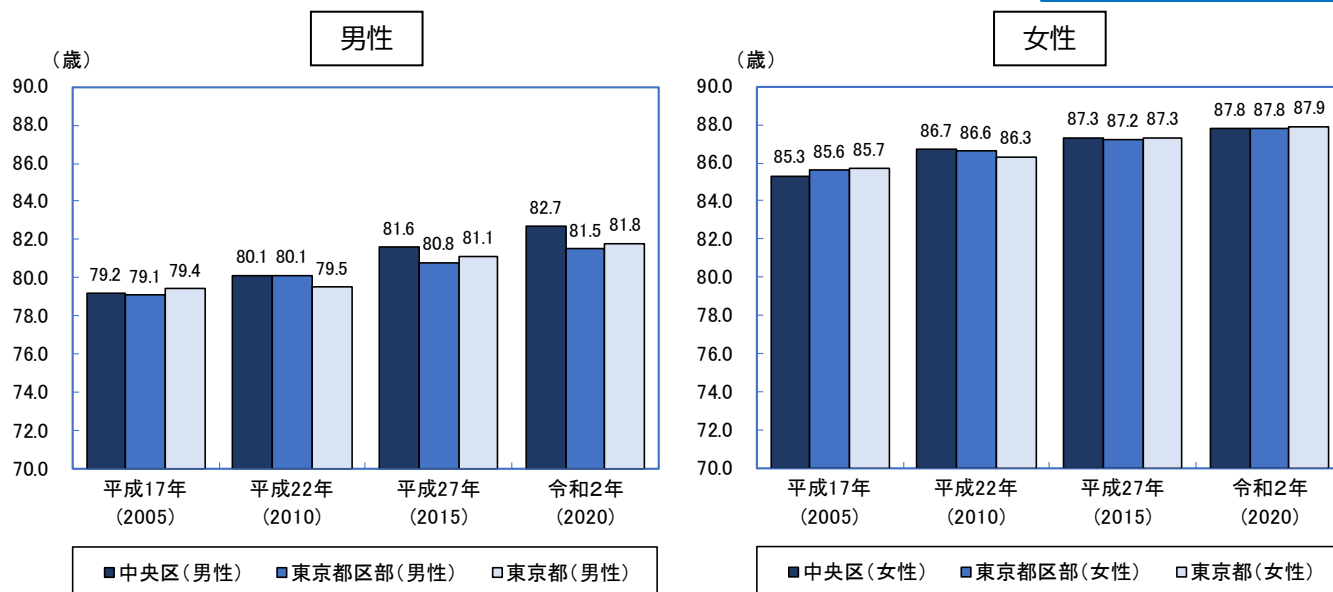
7 寿命・死因の状況

(1) 平均寿命の推移

本区の平均寿命は、男女ともに平成17(2005)年以降伸びています。

平均寿命（中央区、東京都区部、東京都）（性別）

令和7年度国勢調査の結果公表前
公表予定：令和9年3月



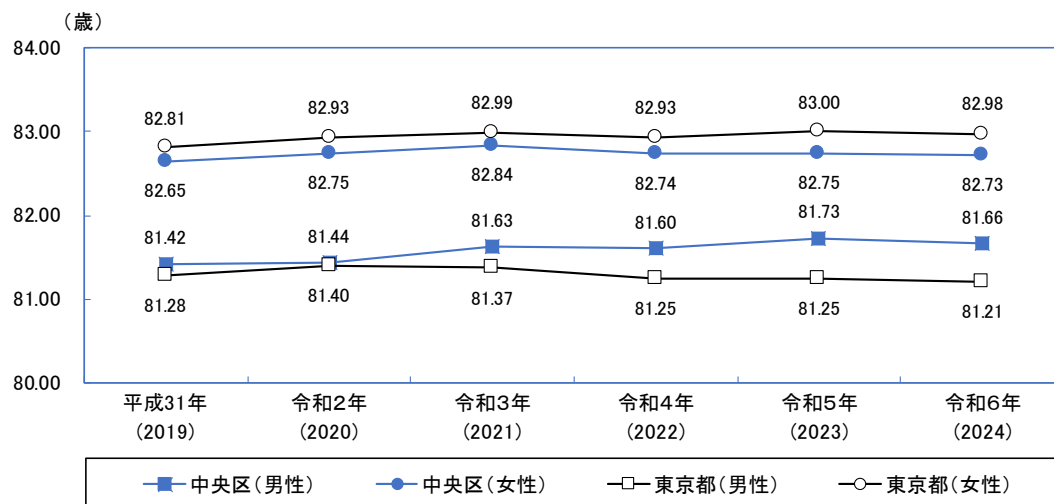
資料：厚生労働省「生命表」（平成17年、平成22年、平成27年、令和2年）
※「0歳」における平均余命

(2) 65歳健康寿命の推移

本区の65歳健康寿命は男性より女性の方が長くなっています。

また、令和2(2020)年の本区の平均寿命と65歳健康寿命を比較すると、男性は65歳健康寿命と平均寿命に大きな差は見られませんが、女性は5年程度の差がみられます。

65歳健康寿命の推移（中央区）



資料：東京都保健医療局「都内各区市町村の65歳健康寿命」（各年）

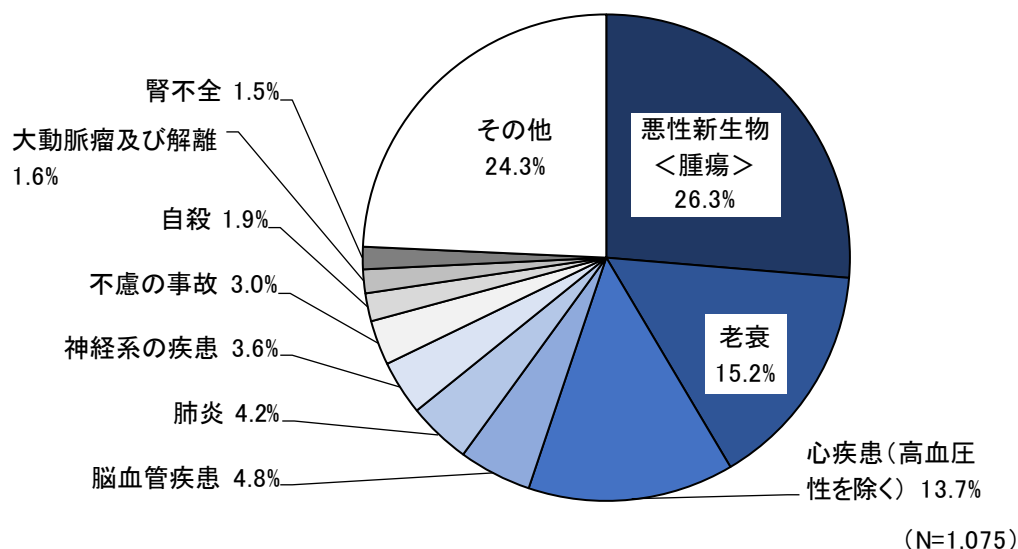
※65歳健康寿命（東京保健所長会方式）は、65歳の人何らかの障害のために要介護認定を受けるまでの状態を健康と考え、その障害のために認定を受ける年齢を平均的に表すもの。

65歳健康寿命（歳）=65歳+65歳平均自立期間（要介護認定を受けるまでの期間の平均、健康と考える期間）（年）

(3) 死亡原因

本区民の死因は、悪性新生物が最も多く、26.3%となっています。次いで老衰、心疾患が多くなっており、これらの上位3位の割合を合わせると5割を超えています。

死亡原因（中央区、上位10位）



資料：東京都保健医療局「人口動態統計」（令和6年）

8 医療機関の状況

本区の医療機関は、令和6(2024)年度10月1日現在1,295カ所となっています。

歯科診療所は増減しながら460カ所程度で推移している一方で、一般診療所は増加が続いており、令和元(2019)年度と比べて、令和6(2024)年度は209カ所の増加となっています。

区内の医療機関数（病院・一般診療所・歯科診療所）の推移

(単位:院、カ所)

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
病院	4	4	4	4	4	4
一般診療所	623	658	690	733	778	832
歯科診療所	460	455	462	461	452	459
計	1,087	1,117	1,156	1,198	1,234	1,295

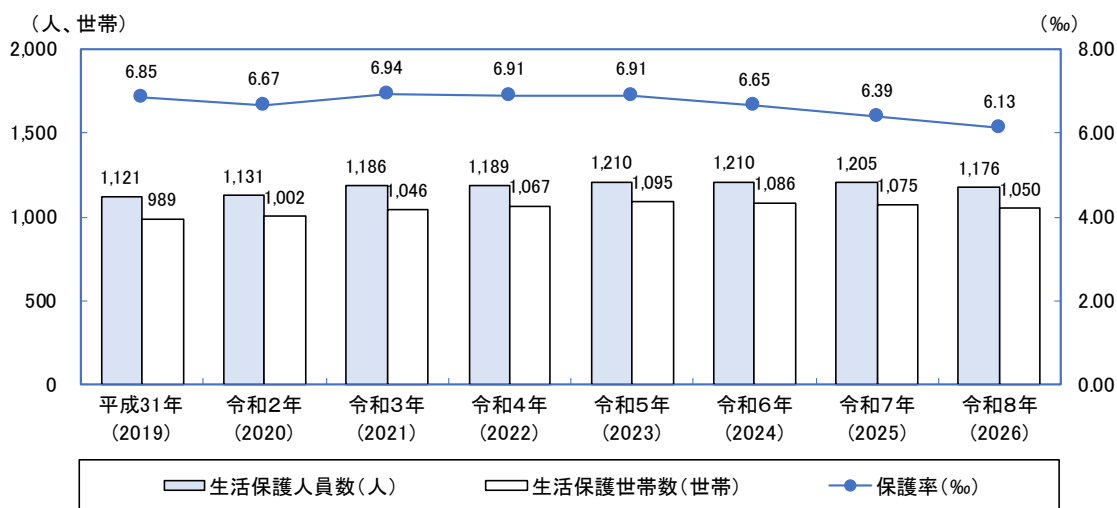
資料：東京都保健医療局「医療施設（静態・動態）調査・病院報告」（各年度10月1日現在）

9 生活保護の状況

本区の生活保護人員数および世帯数は、令和5(2023)年をピークに減少傾向にあり、令和8(2026)年4月1日現在の生活保護人員数は1,176人となっています。

また、生活保護率も低下傾向にあり、令和8(2026)年は6.13%となっています。

生活保護人員・世帯数と保護率の推移（中央区）



資料：中央区（各年4月1日現在）

※ 保護率とは、人口に占める生活保護受給者数の割合

※ %（パーセント）は千分率で1,000分の1を1とする単位

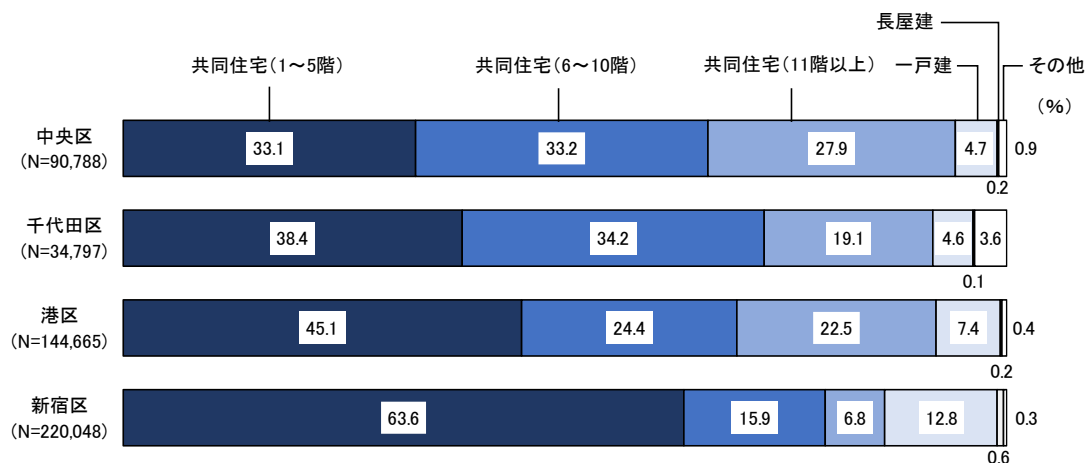
10 住まいの状況

(1) 区民の居住形態

本区は、マンション等(共同住宅)に居住している世帯の割合は94.2%となっており、特に11階以上の高層階の居住割合は27.9%と都心4区の中でも高くなっています。

令和7年度国勢調査の結果公表前
公表予定：令和8年9月

居住形態の割合（中央区・千代田区・港区・新宿区）



資料：総務省統計局「国勢調査」（令和2年）

(2) 空家の状況

本区の空家の状況は、令和5(2023)年は平成30(2018)年から一転して、「その他の物件」が減少し、「賃貸用住宅」が増加しています。他方、「二次的住宅」、「売却用住宅」は減少傾向となっています。

空家数と空家率の推移（中央区）

(単位:戸)

	平成 25 年 (2013)		平成 30 年 (2018)		令和5年 (2023)	
	戸数	構成比	戸数	構成比	戸数	構成比
二次的住宅	1,240	12.7%	400	3.2%	130	1.1%
賃貸用住宅	6,040	61.7%	3,140	25.1%	5,830	49.7%
売却用住宅	1,260	12.9%	530	4.2%	340	2.9%
その他	1,250	12.8%	8,440	67.5%	5,410	46.2%
合計	9,790	100.0%	12,510	100.0%	11,720	100.0%

※二次的住宅とは、別荘（週末や休暇時に避暑・避寒・保養などの目的で使用される住宅で、ふだんは人が住んでいない住宅）と、その他（ふだん住んでいる住宅とは別に、残業で遅くなったときに寝泊まりするなど、たまに寝泊まりしている人がいる住宅）のこと。

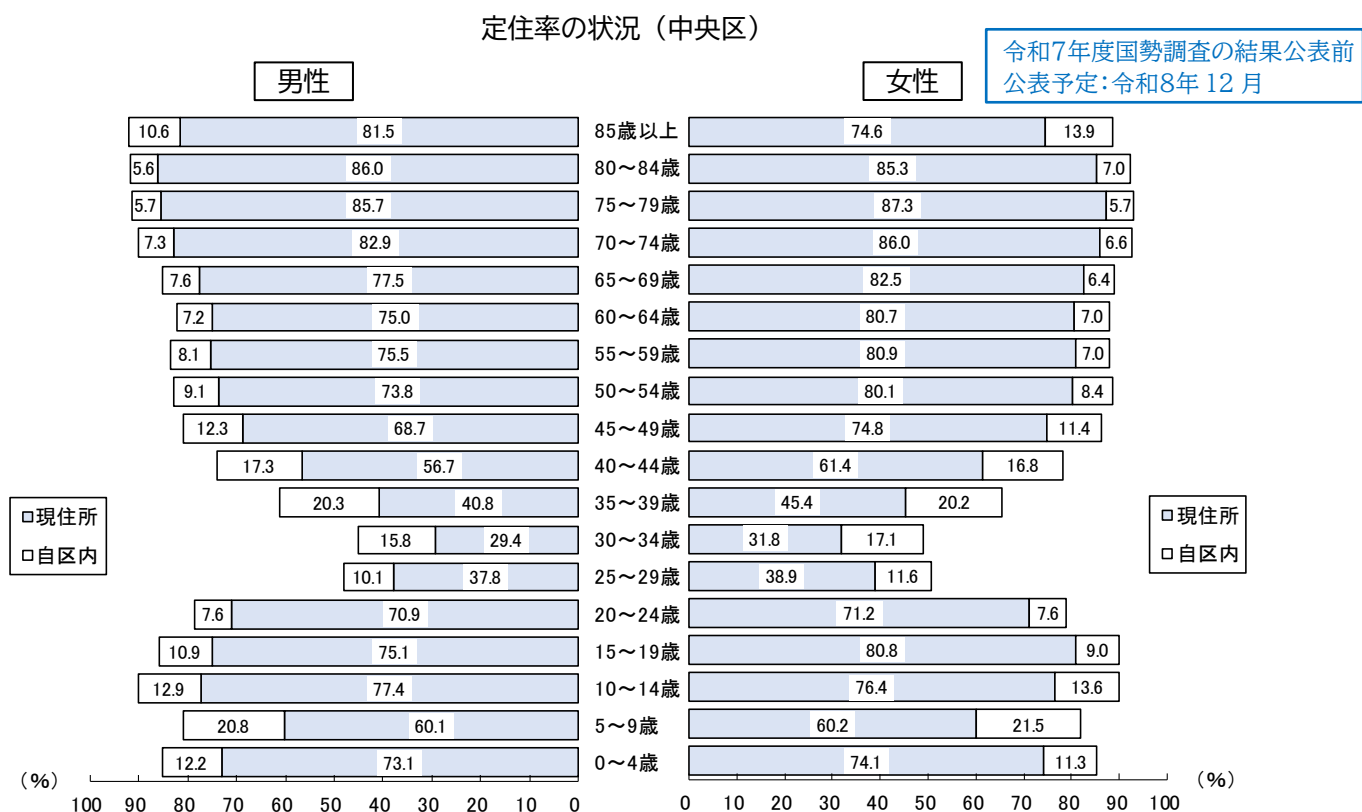
※その他とは、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅などのこと。

資料：総務省統計局「住宅・土地統計調査」（平成25年、平成30年、令和5年）

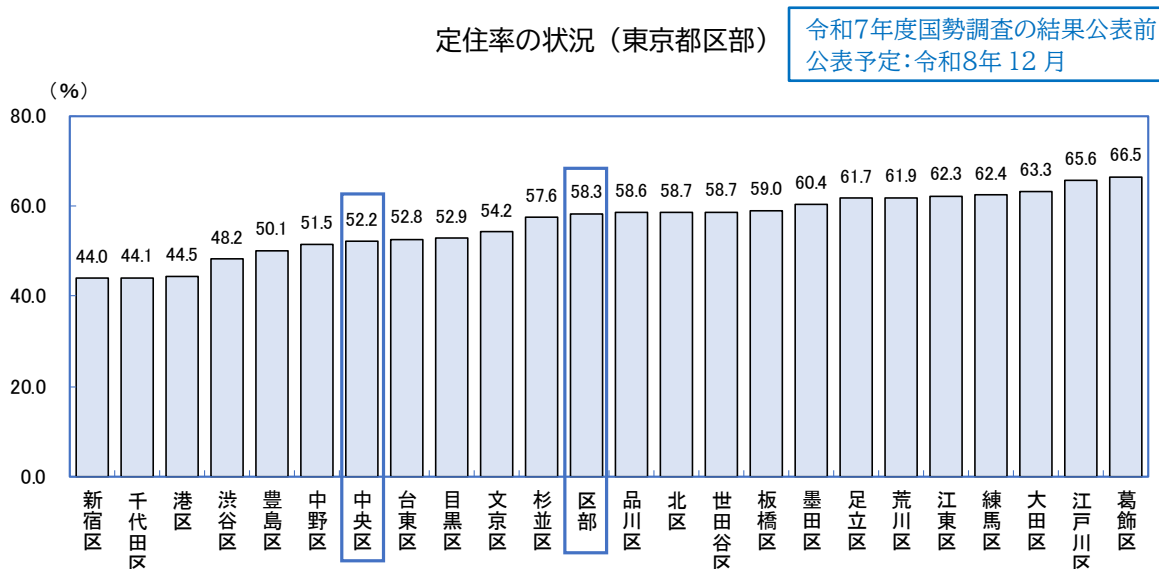
11 定住率の状況

本区の令和5(2023)年の定住率を性別に見ると、30～34歳の男女の定住率が最も低く、男性は80～84歳、女性は75～79歳での定住率が最も高くなっています。

本区の定住率は52.2%であり、東京都区部平均(58.3%)と比べて6.1ポイント低くなっています。



資料：総務省統計局「国勢調査」（令和2年）
※定住率は5年間現住所または区内に居住している割合。5歳未満は、出生後にふだん住んでいた場所による。



資料：総務省統計局「国勢調査」（令和2年）

12 地域コミュニティの状況

(1) 地域別町会・自治会数

本区の地域別町会・自治会数は、令和8(2026)年4月1日現在は京橋地域で62、日本橋地域で68、月島地域で43となっており、合計で173団体となっています。

地域別町会・自治会数（中央区）

(単位:団体)

	京橋地域	日本橋地域	月島地域	合計
令和2(2020)年2月10日現在	63	68	46	177
令和8(2026)年4月1日現在	62	68	43	173

資料：中央区

(2) 地域別防災区民組織数

本区の地域別防災区民組織数は、令和8(2026)年4月1日現在は京橋地域で54、日本橋地域で57、月島地域で42となっており、合計で153組織となっています。

地域別防災区民組織数（中央区）

(単位:組織)

	京橋地域	日本橋地域	月島地域	合計
平成31(2020)年1月1日現在	53	57	44	154
令和8(2026)年4月1日現在	54	57	42	153

資料：中央区

(3) 民生・児童委員の状況

令和8(2026)年4月1日時点の民生・児童委員の現員数は100人、定数に対する充足率は80.0%となっています。

民生・児童委員数（中央区）

(単位:人)

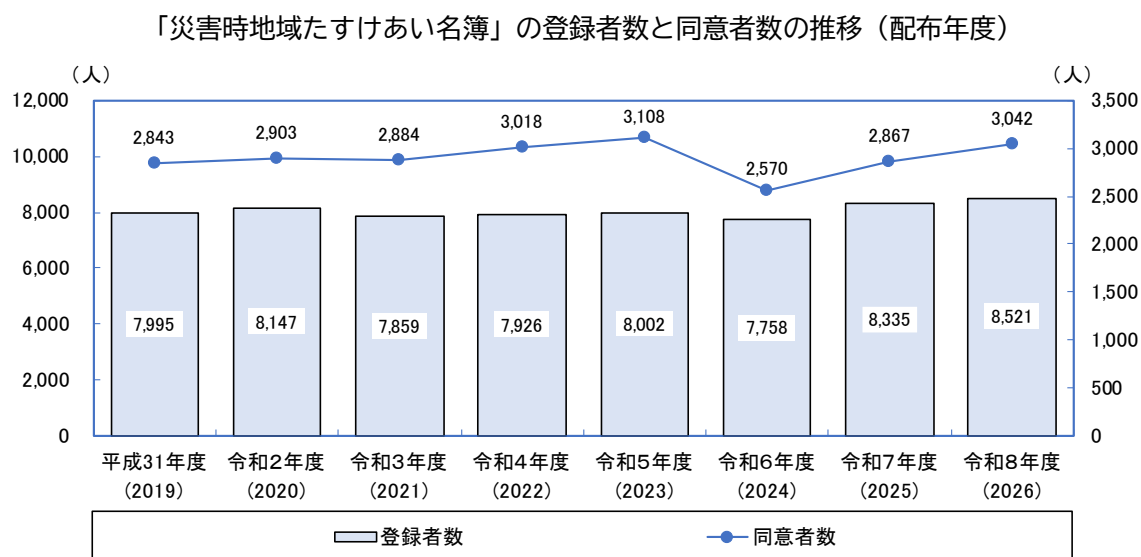
		令和2年 (2020)		令和5年 (2023)		令和8年 (2026)	
		人数	充足率	人数	充足率	人数	充足率
京橋地域	現員数	31	100%	32	100%	32	100%
	定数	31		32		32	
日本橋地域	現員数	31	88.6%	27	77.1%	28	80.0%
	定数	35		35		35	
月島地域	現員数	42	80.8%	42	73.7%	40	69.0%
	定数	52		57		58	
中央区全体	現員数	104	88.1%	101	81.5%	100	80.0%
	定数	118		124		125	

資料：中央区（各年4月1日現在）

(4) 「災害時地域たすけあい名簿」の登録者数と同意者数の推移

本区の「災害時地域たすけあい名簿」の登録者数と名簿情報の外部提供同意者数の推移をみると、名簿の登録者数は8,000人前後で推移し、令和8(2026)年度は8,521人となっています。

また、外部提供同意者数は、令和4(2022)年度に3千人を超えたのち、令和6(2024)年度に一時減少したものの、その後は再び増加し、令和8(2026)年度は3,042人となっています。



資料：中央区（各年度4月1日現在）

13 各種相談の状況

(1) ふくしの総合相談窓口の相談件数

「ふくしの総合相談窓口」は、令和6(2024)年度に京橋地域(区役所地下1階)を皮切りに、令和7(2025)年度に月島地域(月島区民センター)、令和8(2026)年度に日本橋地域(日本橋区民センター)に開設しました。

令和7(2025)年度の相談件数は、京橋地域では3,695件、月島地域では879件となっています。相談内容については、「ふくしの総合相談窓口」は、自立相談支援機関としての窓口も兼ねていることから生活困窮に関しての相談が多くなっています。

ふくしの総合相談窓口の相談件数

(単位:件)

	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
京橋地域	3,809	3,695
月島地域	—	879
計	3,809	4,574

資料：中央区（各年度3月31日現在）

(2) おとしより相談センターの相談件数

おとしより相談センターで受けた相談件数の合計は、令和7(2025)年度は、23,796件となっています。

おとしより相談センターにおける相談件数の推移

(単位:件)

	平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
相談件数(延件数)	31,177	33,995	32,812	32,551	27,798	29,170	23,796

資料：中央区（各年度3月31日現在）

※令和6（2024）年度以降は晴海おとしより相談センターの相談件数を含む

(3) 中央区基幹相談支援センターの相談件数

中央区基幹相談支援センターにおける相談件数は、コロナ禍においては電話対応等が多く相談件数が増加していましたが、相談支援事業所の充実やふくしの総合相談窓口の開設による相談機関の分散、関係機関につなぐことにより相談が早期に終結していることが大きな要因と考えられ、令和7(2025)年度は、1,576件とコロナ禍前の水準まで減少しています。

中央区基幹相談支援センターにおける相談件数の推移

(単位:件)

	平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
相談件数	1,791	2,424	2,946	3,702	3,686	3,281	1,576

資料：中央区（各年度3月31日現在）

(4) 自立相談の件数

区の自立相談支援機関で受ける自立相談の件数は、新型コロナウイルス感染症が拡大した令和2(2020)年度に激増し、令和5(2023)年度までに一時減少したものの再び増加に転じ、令和7(2025)年度は4,896件となっています。

自立相談の件数の推移

(単位:件)

	平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
相談件数	1,331	11,878	8,476	3,944	3,502	4,756	4,896

資料：中央区（各年度3月31日現在）

※令和6（2024）年度以降はふくしの総合相談窓口の相談件数を含む

(5) 子育て交流サロン「あかちゃん天国」の子育て相談の件数

区内児童館等で開催する子育て交流サロン「あかちゃん天国」における子育て相談の件数は減少傾向にあったものの、令和6(2024)年度に増加に転じています。

子育て交流サロン「あかちゃん天国」の子育て相談の件数の推移

(単位:件)

	平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
相談件数	1,457	1,357	1,330	976	870	999	1,214

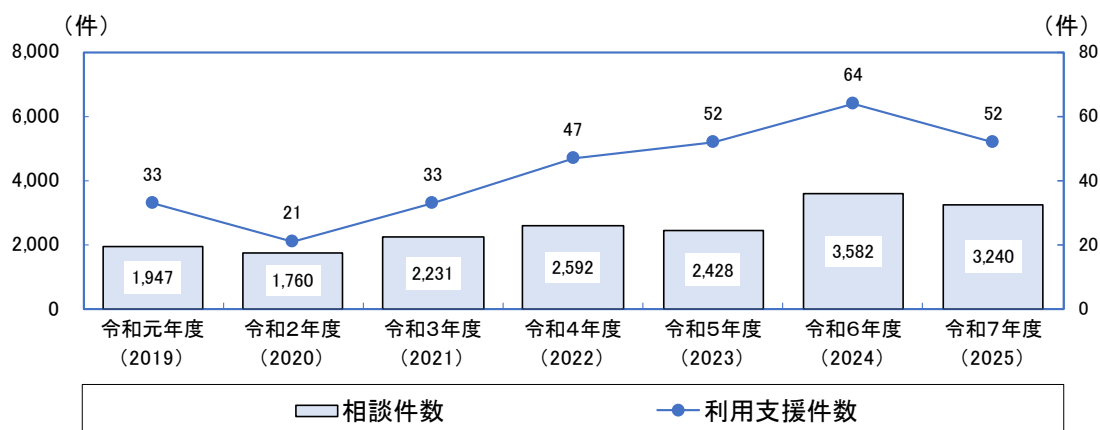
資料：中央区（各年度3月31日現在）

(6) 中央区社会福祉協議会 成年後見支援センター「すてっぷ中央」の成年後見制度の利用に関する相談件数

中央区社会福祉協議会の成年後見支援センター「すてっぷ中央」における成年後見制度の利用に関する相談件数は、令和6(2024)年度以降は3千件を超えています。

また、利用支援件数は、令和2(2020)年度から令和6(2024)年度にかけて増加傾向にありましたが、令和7(2025)年度は減少しています。

成年後見支援センター「すてっぷ中央」の
成年後見制度の利用に関する相談件数・利用支援件数の推移



※相談件数は、一般相談件数。

※利用支援件数は、後見等申立支援件数(候補者等紹介件数+申立手続き支援件数)。

資料：中央区（各年度3月31日現在）

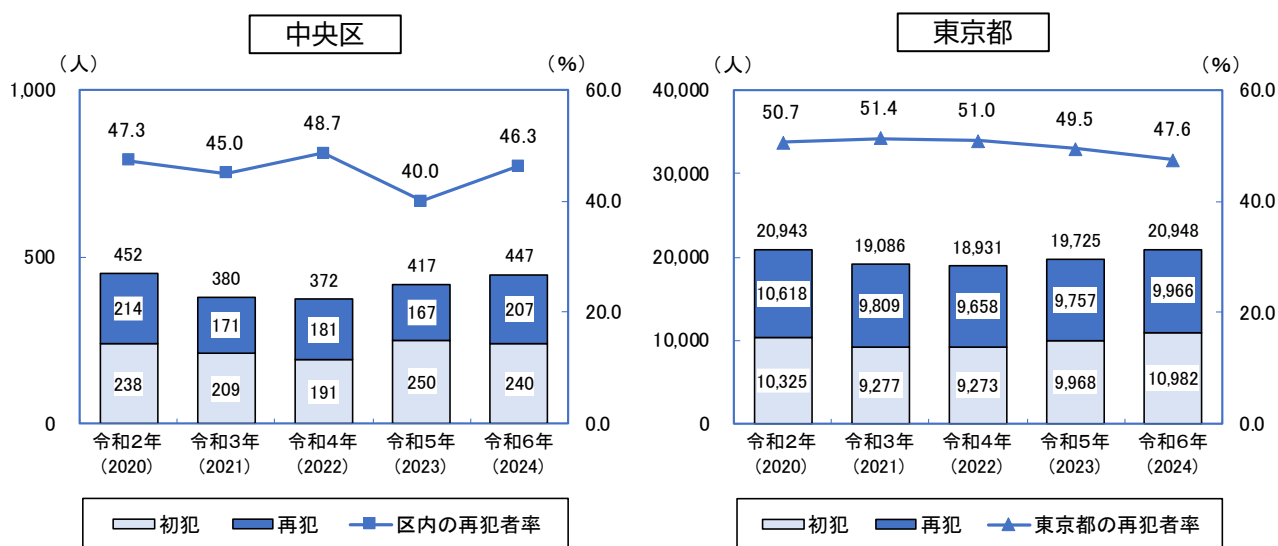
14 区内の犯罪の状況

(1) 検挙件数・再犯者数・再犯者率

本区の検挙件数は、令和4(2022)年まで減少傾向でしたが、令和5(2023)年に上昇に転じており、令和6(2024)年は447人となっています。

また、本区の令和6(2024)年の再犯者数は207人となっており、再犯者率は東京都平均より低い水準ではあるものの、検挙者のうち約2人に1人が再犯者となっています。

再犯者数および再犯者率の状況（中央区・東京都）
（刑法犯総数 20歳未満の者を除く）



資料：法務省矯正局提供データを基に区作成

(2) 保護司の状況

本区の保護司は、令和8(2026)年1月1日現在39人で、定員に対する充足率は65.0%となっています。

区内の保護司の状況（中央区）

(単位:人)

	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)
現員数	34	35	36	35	36	41	39
定数	60	60	60	60	60	60	60
充足率	56.6%	58.3%	60.0%	58.3%	60.0%	68.3%	65.0%

資料：中央区保護司会データを基に区作成（各年1月1日現在）